

## チャイルドシートアセスメントの結果の概要について

### 1. チャイルドシートアセスメントの実施方法

チャイルドシートアセスメントは、自動車アセスメント実施要領に基づいて行っています。なお、実施要領については、平成15年6月に意見の募集を実施し、広く一般の方々の意見を伺って作成しました。

### 2. 試験対象チャイルドシートの選定方法について

試験対象とするチャイルドシートは、国が定める安全基準（道路運送車両の保安基準）または海外（欧州及び米国）の基準に適合しているもので、平成14年4月から平成15年3月までの1年間の出荷台数の実績が上位のものを基本に選定（前年度までに試験を実施したものを除く。）するとともに、チャイルドシート製作者等から試験の申し出のあったものも選定しています。なお、昨年度と同様に、乳児用、幼児用を対象とし、学童用は対象にしていません。

上記原則に則り、今年度の試験においては7製品を対象としました。なお、種類別では、乳児用1製品、乳児用・幼児用（兼用タイプ）3製品、幼児用3製品です。

### 3. 前面衝突試験の評価結果

#### (1) 評価の概要

前面衝突試験は、チャイルドシートを取り付けた試験用車両に、自動車の時速55kmでの前面衝突時と同様の衝撃を発生させて行います。衝突速度は自動車アセスメントのフルラップ前面衝突試験と同様、より高い安全性能を評価する観点から、国の安全基準（道路運送車両の保安基準）における衝突速度の1割増で実施しています。

乳児用は進行方向後ろ向き、幼児用は前向きにチャイルドシートを取り付けて試験を実施しています。

それぞれの評価項目についてダミーによる計測等を行い、前面衝突試験の評価を、「優」、「良」、「普通」及び「推奨せず」の4段階で評価しています。

なお、「推奨せず」とは、より高い安全性能を評価する本試験の結果からは推奨に至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、全て安全基準に適合しており、一定レベルの安全性は確保されています。

前面衝突試験の一例



乳児用(後ろ向き)



幼児用(前向き)

(2) 前面衝突試験の全体の評価に関して

前面衝突試験の全体の評価を行った製品数は、6製品です。そのうち、乳児用(後ろ向き)と幼児用(前向き)を兼用して使用できる製品が3製品あります。

また、個別項目の結果のみを公表し、全体の評価を行わないこととした製品が1製品あります。

乳児用(後ろ向き)4製品の評価結果は、「優」が3製品、「良」が1製品でした。「普通」及び「推奨せず」となった製品はありませんでした。

前面衝突試験の評価結果(乳児用)

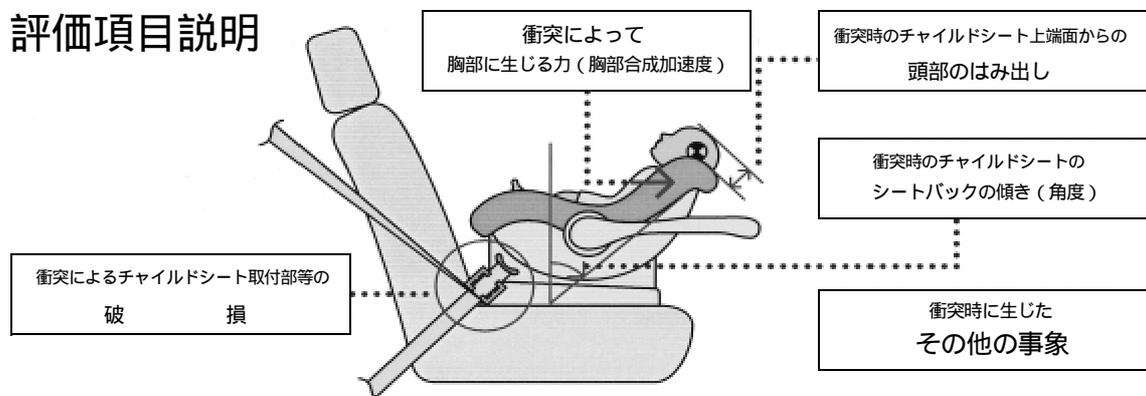
評価区分	15年度	14年度
優	3	4
良	1	4
普通	0	2
推奨せず	0	0
計	4	10

今年度と、昨年度の前面衝突試験における、個別項目評価結果の比較は下表のとおりとなっています。

前面衝突試験の個別項目評価結果(乳児用)

評価項目	15年度			14年度		
			×			×
取付部等破損	3	1		9	1	
シートバックの傾き	4			8	2	
頭部のはみ出し	4			9	1	
胸部に生じる力	4			6	4	
その他の事象						

評価項目説明



次に、幼児用（前向き）の5製品の評価結果は、「優」が1製品、「良」に該当するものは無く、「普通」が3製品、「推奨せず」が1製品でした。

なお、全体の評価を行わなかった1製品については、評価結果に含まれておりません。

また、今年度から幼児用の評価のうちベルト等による腹部への影響について、面圧計を用いた定量的な評価を行いました（別紙1参照）。

前面衝突試験の評価結果（幼児用）

評価区分	15年度	14年度
優	1	0
良	0	8
普通	3	1
推奨せず	1	0
評価なし（注）	1	0
計	5	9

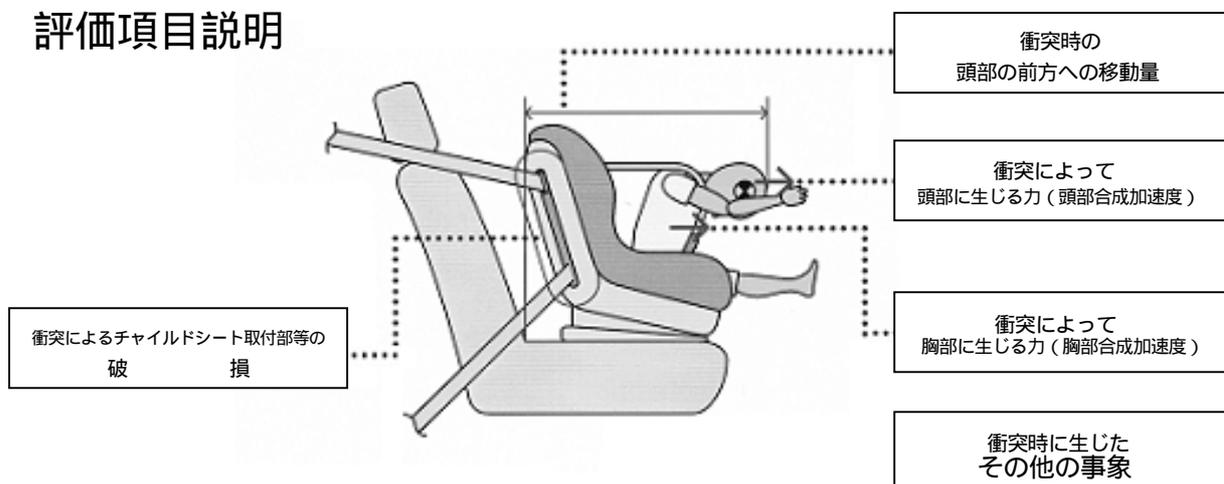
今年度と、昨年度の前面衝突試験における、個別項目評価結果の比較は下表のとおりとなっています。

前面衝突試験の個別項目評価結果（幼児用）

評価項目	15年度			14年度		
			x			x
取付部等破損	3	2	1	8	1	
頭部前方移動量	2	4		1	8	
頭部に生じる力	4	2		8	1	
胸部に生じる力	6			9		
その他の事象			1（注）			

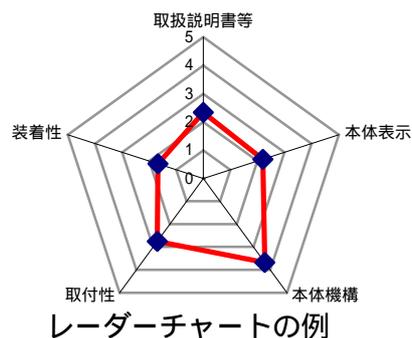
注：腹部圧迫の評価において、チャイルドシートの腰ベルトが、取扱説明書の使用方法通りにはダミーの腰骨部位を充分におおう位置に装着できないものであったため、各項目の結果のみを記載し、全体の評価は行わないこととしました。

## 評価項目説明



#### 4. 使用性評価試験の評価結果

ユーザーによる自動車の座席への確実な取り付けがしやすいように配慮されているかなど、チャイルドシートの誤った使用を防止する観点から、使用実態を反映した5つの評価項目（取扱説明書等、本体表示、本体機構、取付性、装着性）について、5名の専門家により5点満点での判定を行い、レーダーチャートで示しています。



評価について、評価項目ごとに全製品の平均を求めたところ、取扱説明書等は4.0点、本体表示は3.8点、本体機構は3.6点、取付性は4.1点、装着性は3.8点となりました。昨年度に比べ、取扱説明書等及び取付性の評価が向上しています。評価は、全体として1.0から5.0点まで幅広く分布していますが、項目別に見ると「取扱説明書等」や「取付性」については比較的高い評価のものが多く、特に乳児用については、昨年度と比較して評価項目全ての平均点が向上しており、これらの製品はシートベルトの取り回しや固定のしやすさについて製品ごとに設計上の工夫がされていました。

使用性評価結果について、乳児用と幼児用に区分して昨年度の結果との比較をすると以下ようになります。

##### 乳児用

評価項目	得点範囲				平均点	
	1.0-1.9	2.0-2.9	3.0-3.9	4.0-5.0	15年度	14年度
取扱説明書等			2	2	4.3	3.5
本体表示			2	2	4.3	3.8
本体機構			1	3	4.4	3.5
取付性				4	4.7	3.5
装着性				4	4.2	3.7

##### 幼児用

評価項目	得点範囲				平均点	
	1.0-1.9	2.0-2.9	3.0-3.9	4.0-5.0	15年度	14年度
取扱説明書等			4	2	3.8	3.9
本体表示		2	3	1	3.6	4.0
本体機構	1	1	2	2	3.4	3.6
取付性	1		2	3	3.8	4.3
装着性	1		1	4	3.5	3.8

# 評価項目説明

本体機構  
リクライニング  
回転機構等



装着性



取扱説明書等



本体表示

取付性

